**福祉教育推進プログラムの流れ**

柏崎市社会福祉協議会では、「学校の友人や地域住民とともにより豊かに生きる力」を育む福祉教育推進プログラムの普及を目的に、福祉教育を取り入れる際のプログラムの企画、講演や体験学習の講師の選定や斡旋、学習終了後のフォローアップまでお手伝いしています。

さらに、安心して学習を進めるため、学校や家庭、地域が連携して実施する福祉教育やボランティア体験に要する講師謝金や材料費等の費用について助成を行っています。

詳しくは、「柏崎市社会福祉協議会ボランティア推進校助成事業要綱」をご覧ください。

※平成29年度の募集は終了致しました。

※導入から次の活動への調整のプログラムの実施については、

講師が必要な場合は事務局にて調整します。

**小学生には…**

小学校４年生の国語の授業で点字や視覚障害について学ぶ中で、子どもたちには困っている人がいたら助けたいという気持ちが芽生えています。障がい者や福祉関係者の話を聴いたり、点字や手話、身近にあるユニバーサルデザインを見つけて、子どもたちの記憶に残るプログラムを提案します。

**中学生・高校生には…**

地域には高齢者や障がいのある方などに限らず、生活をする上で何らかの困りごとを抱えている人がいます。そのような困りごとを自分や身近な人のこととして考え、話し合い、自分たちには、何ができるかを考えます。福祉の制度やサービス概要など一歩踏みこんだ内容も学ぶことができます。

**福祉教育推進プログラムの活用方法**

福祉教育推進プログラムを実施する当日までの流れ

３週間前～前日

１ヶ月前まで

１ヶ月～３週間前

当日

③プログラムの決定

打ち合わせの内容をもとにプログラム案を作成し、FAXまたはメールにより先生と相談しながらプログラムの細部を決定していきます。

②プログラムの企画・調整

担当職員が学校に出向きます。日時・会場・対象、希望するプログラム内容の詳細などについて、打ち合わせを行います。

①問い合せ・申し込み

希望のプログラムが決まりましたら相談カードに必要事項を記入の上、ご提出ください。

**ボランティア推進校助成事業について**